熊本市立植木北中学校学校だより　第２号

日　進　月　歩

令和７年４月18日（金）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

植木北中が始動しました
～対面式・朝の奉仕活動～

新年度がスタートして２週目が終わりました。生徒会の挨拶運動、朝の清掃活動など常時活動も始まり、朝の校門付近は活気があります。上級生が１年生に教えながら一緒に活動する様子も見られ、ほのぼのとした温かい光景を目にすることができます。

今週の月曜日には対面式が行われ、上級生から１年生に生徒会活動や部活動について活動内容についての説明や紹介が行われました。各委員会の説明は丁寧で、１年生も各委員会の仕事のイメージを持ちながら聞くことができたようです。部活動紹介では、女子バレー部は２・３年生の部員がいないため顧問の先生による説明でしたが、他の美術部、音楽部、女子バスケットボール部、サッカー部、和太鼓部は各部の特色を生かし、ユーモアも一部交えながら発表してくれました。１年生が中学校生活に希望を持つ機会になったことと思います。

今回紹介した上級生も、新入生の頃は先輩の姿を見て、植木北中のことを知り、あこがれを抱いたことと思います。このようにして、学校の伝統や歴史、校風が次の世代に受け継がれていきます。

短い時間ではありましたが、植木北中の魅力が十分にわかる時間でした。１年生のために準備や発表をしてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。

「自主的」から「主体的」へ

子どもたちの朝の活動の様子を見ていると、自主的な姿勢がよく育っていると感じます。朝の開始時間に生徒が集合し、自分たちの役割・仕事を、友達と協力しながら笑顔で取り組んでいます。とてもさわやかな風景です。

「自主的」な行動は学校など集団で生活していく上でとても大切なことです。しかし、社会に目を向けてみると、今求められているのは「主体的」に行動する人材です。教育の世界の中でも「主体的」という言葉がよく出てきます。「自主的」と「主体的」の違いは何か。朝の当番活動を例にとると、次のように考えることができます。

朝７：４５から１０分間、校門付近の落ち葉掃きをします。時間を守り、指示を待たずにほうきを持って掃き出し、時間いっぱい頑張る。これは「自主的」です。では「主体的」な行動とは・・・私は次のように考えます。

校門付近の落ち葉の状況を見て、１０分間できれいにするためには、どこに何人の人が必要かを考え、役割分担をして、時間内にきれいにする。**状況（課題）を把握し、目的を明確にし、解決の見通しを持って実践**する。簡単ではありませんが、決して難しいことでもありません。

自分の身近な当番活動や係・委員会活動の中にも「主体的」な態度を身につける機会はたくさんあります。いつも当たり前のように行っていることも、見方・考え方、発想を少し変えることで行動に変化が出ます。**「人の役に立つ」「効率よく」「仲間を増やす（巻き込む）」「協力して行う」**などがキーワードになるかと思います。「自主的」から「主体的」へ。ステップアップしてほしいと思います。